

# 第 6 回 S D フォーラム

## 人材マネジメントと職員の能力開発

大学コンソーシアム京都では、2003 年度より大学マネジメントに関する公開研究会や SD フォーラムに取り組むとともに、2004 年度からは「大学アドミニストレータ」を「大学をとりまくステークホルダー（学生・父母・企業・政府・地方公共団体・NGO・NPO 等）のニーズを把握し、トップマネジメント の意思決定を支えながら、構成員や関係諸機関との調整を行い、大学における目標設定やその具体化を図る能力を持つ職員」と定義し、その育成にむけた研修プログラムを実施しています。また、2006 年度からは、「職員のための大学セミナー」を開催し、高等教育に関する諸課題について、大学職員の視点から考えていく取り組みを行っています。

6 回目を迎える今年度の SD フォーラムでは、「人材マネジメントと職員の能力開発」をテーマとし、基調講演を行うとともに 6 つの分科会を設け、大学規模別の組織的な職員の能力開発の在り方や大学職員の新たな業務領域として近年重要度が高まっているリスクマネジメントや研究支援等における人材育成について、先進的な取り組みを行っておられる大学・機関より事例報告をいただきます。また、事例報告後に参加者全員で意見交換を行い、SD フォーラムで得られた成果を今後の個別大学・短期大学における人材育成や人事政策に活かしていただくことを目指します。

### [ 開催概要 ]

|      |   |
|------|---|
| 日 時  | 2008 年 10 月 19 日（日） 10:00 ~ 17:30   |
| 会 場  | キャンパスプラザ京都 京都市下京区西洞院通塩小路下ル  |
| 対 象  | 大学職員の人材育成や人事政策に関心のある大学・短期大学の教職員   |
| 定 員  | 180 人（先着順）  |
| 受付期間 | 《加盟校先行受付》7 月 21 日（月）～ 31 日（木）<br>《一般受付》8 月 1 日（金）～  |
| 申 込  | 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX にてお申込みください。<br>（「参加申込書」は大学コンソーシアム京都のホームページに掲載）   |
| 申込締切 | 2008 年 9 月 19 日（金） 必着<br>* 申込が定員に達した場合、参加をお断りすることがあります。また、分科会については、会場の収容定員の都合上、ご希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。<br>* 参加可否については、10 月上旬に申込者全員に通知いたします。 |
| 参加費  | 《加盟校》4,000 円（1 人 / 当日資料、報告集代を含む）<br>《非加盟校》6,000 円（1 人 / 当日資料、報告集代を含む）<br>* 参加費は当日会場にてお支払いください。<br>* 報告集は翌年 1 月頃参加者宛に郵送いたします。                        |

### 送付・問い合わせ先

財団法人大学コンソーシアム京都 高等教育研究推進事業部（担当：野田智子・井上真琴）

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都

TEL: 075-353-9100 FAX: 075-353-9101 E-mail: sd@consortium.or.jp

URL: <http://www.consortium.or.jp/> 【トップページ 教職員の方 SD フォーラム】

## プログラム

9:30 受付開始

10:00 12:00 **第1部 基調講演**

「関西大学における人材マネジメント」

講師：森本 靖一郎 氏（学校法人関西大学 理事長）

関西大学では、「教職協働」の下、大学の使命である教育・研究・社会貢献に関する諸施策を推進している。こうした中であって、事務職員には広範かつ多様な役割を果たすことが期待されている。

「事務職員こそが大学経営の担い手である」との持論から、自身の経験も踏まえて、関西大学の教育研究と経営管理を支える事務職員像、人材育成及び能力開発に関し、考えるところを述べたい。

13:30 16:00 **第2部 分科会**

**A** 関西学院の研修制度 - 人事諸制度とのリンク -

報告者：福中 修二氏（関西学院大学 総務部次長・人事課長(兼務)）

「人事制度」又は「研修制度」という言葉を聞いた時に、どのようなことをイメージするのかを確認しておいてほしい。その上で、今回の分科会に参加していただき、そのイメージがどう変化するのか、参加者のみなさんと共に考え、意見交換を行いたいと思います。

**B** 職員能力開発の組織的取り組みをどのように展開するか？ - 地方の中規模大学の試み - (仮題)

報告者：室田 邦子氏（広島修道大学 事務局次長）

私立大学を取り巻く環境のなか、とりわけ厳しい地方にあって、SDへの取り組みは必須の課題です。従来からの研修派遣や能力開発奨励・支援にとどまらず、組織的・段階的な能力開発体制・中長期的研修計画を作って実施していかなければならないことは自明のことです。地方の中小規模の大学としてどのような取り組みをしたらよいか、参加の皆様からもヒントを得たいと考えております。

**C** 小規模大学だからできること ~ 職員の能力を活かす組織作り ~

報告者：土山 晶子氏（京都経済短期大学 事務局長）

小規模大学には、大規模・中規模大学とは異なる特色の打ち出し方や社会的責任があります。「小規模大学だからこそできること」に目を向けて、その中で職員が担う役割について考えていきたいと思います。職員の能力開発においても、小規模大学の持つ長所と短所を前提とした方法論があるのではないのでしょうか。皆様との意見交換に先立ち、学生300人・教職員30人の京都経済短期大学から、なるべく具体的に事例をご報告致します。

**D** 大学の社会的責任・リスクマネジメントの取り組みに向けて

報告者：植草 茂樹氏（新日本有限責任監査法人 公会計部 学校法人経営管理支援室）

大学を巡る社会的要請が変化する中で、大学と大学を支える教職員は変化に柔軟である必要があります。社会環境やリスクの変化が生じた時、いかに適切に対応できるかは、日ごろの学内（教職員）における心と仕組みが重要になります。環境問題といった自主的な取り組みは、社会的要請の変化や規制強化により、リスクマネジメント・コンプライアンス問題になります。いかに先んじて社会的要請に対応できるかが大学の生き残りを決めると思います。是非これらの問題を皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。

**E** これからの教学部門職員の専門性と能力開発

報告者：秦 敬治氏（愛媛大学 経営情報分析室准教授）

河野 太志氏（愛媛大学 教育・学生支援部教育企画課チームリーダー）

教職協働が叫ばれている今、最も教職協働が必要とされるセクションの一つが教学部門です。これからの教学部門の職員には、どのような専門性が求められ、それを修得するにはどのようなSDを行う必要があるのでしょうか。また、大学が行うSD、外部研修で行うSD、自己啓発など何が効果的なのでしょうか。当日は、事例を交えながらこれからの教学部門職員のあり方と、その能力開発について議論しましょう。

**F** 研究支援人材に求められる能力と人材育成

報告者：野口 義文氏（立命館大学 研究部次長・理工リサーチオフィス課長）

他大学に先駆け、研究支援・産官学連携活動を展開する、リエゾンオフィスが設置され、早や13年が過ぎました。その間、感じたことは、研究力＝教員力量、研究支援力＝職員力量、研究展開力＝教職共同力量であり、この3つの力は、大学の研究高度化を推進する「幹」を成すものと考えています。その中でも研究支援力は、研究力以上に研究高度化・外部資金獲得の命運を左右する「力」だと思います。その研究支援人材（職員）に、今、求められている能力はなにか？そのための人材育成は？このことを日々めまぐるしく変化する、研究支援・産官学連携の現場から報告したいと思います。

16：15 17：30 第3部 交流会